

## 高遠町誌上巻(一) 目次

口 紋

発刊のことば

例 言

## 第一章 原始・古代

## 第一節 先土器時代の高遠 ..... 三

一 概 説 .....	.....	三
二 洪積世人 .....	.....	四
三 先土器時代の遺物と編年 .....	.....	五
四 高遠周辺の遺物 .....	.....	一五
(一) 敲打器 .....	.....	一六
(二) 刃 器 .....	.....	一七
(三) 尖頭器 .....	.....	一七
(四) 細石器 .....	.....	一八
(五) 先土器終末期の有舌尖頭器 .....	.....	一九

## 第二節 繩文時代の高遠 ..... 三三

一 概 説 .....	.....	一三
二 高遠町の先史遺跡分布 .....	.....	二五
(一) 高遠町先史遺跡分布 .....	.....	二五
三 高遠町の遺跡めぐり .....	.....	三二
四 高遠町の繩文時代編年 .....	.....	五一
五 高遠町の主な繩文土器 .....	.....	五四
(一) 前期繩文土器 .....	.....	五七
(二) 中期繩文土器 .....	.....	五九
(三) 後期繩文土器 .....	.....	六七
(四) 晩期繩文土器 .....	.....	六八
六 繩文時代の生活と労働用具 .....	.....	六九
(一) 繩文時代の石器の特徴と種類 .....	.....	七〇
(二) 石器の製法 .....	.....	七一
(三) その他の生活用具 .....	.....	八六
七 繩文時代の石器の石材 .....	.....	八八
(一) 上伊那地方における石器の石材 .....	.....	八八
(二) 石器の石質 .....	.....	八九

五 高遠町の先土器時代遺物 ..... 二二

(一) 中形刃器 ..... 二二

(二) 小形ナイフ形石器 ..... 二二

(三) 尖頭器 ..... 二二

(三) 高遠町にみられる石器の石材	一一〇
第三節 弥生時代の高遠	一〇四
一 概 説	一〇四
二 弥生時代の年代と時代区分	一〇五
三 弥生時代のはじまり	一〇七
四 高遠町の弥生遺跡	一〇九
五 弥生時代の生活用具	一一一
(一) 弥生式土器	一一一
(二) 労働用具	一一四
(三) 木製用具による稻作	一二五
第四節 古墳時代の高遠	一二八
一 概 説	一二八
二 古墳時代	一二〇
三 伊那地方の土師器の編年	一二三
(一) 土師器出土遺跡の地理的特色	一二三
(二) 上伊那の土師器編年考察	一二六
四 古墳時代の高遠	一三二
(一) 土師器と須恵器の分布	一三二
五 古墳時代の水田形式	一四〇
第五節 古代の高遠	一四七
一 概 説	一四七
二 古代の村	一四九
(一) 信濃國	一四九
(二) 庶民の暮らし	五一
三 貢馬・貢納物	一五三
(一) 貢馬	一五三
(二) 貢納物	五四
(三) 防人	五六
(四) 莊園	一五七
第六節 高遠町遺跡発掘調査報告書(抄)	一五九
古文書より	一五九
(一) 誕生石	一六〇
(二) 誕生石	一六〇
(三) 露靈石	一六〇
(四) 神代石	一六〇
(五) 小形埴形土器	一六〇
四 湿地田	一四五
五 沼田	一四三
六 谷地田	一四四
七 棚田	一四二

(六) 矢ノ根石	一六一	第三節 南北朝時代	三三八
(七) 瓜石・笏石・円飾石	一六一	一 北条氏と諏訪氏	三一八
二 積迦堂遺跡	一六一	二 北条時行と上伊那東部	三三三
三 宮ノ原遺跡	一六八	二 中先代の乱	三三三
四 堀遺跡	一九三	(一) 大徳王寺城の戦	三三七
		(二) 伊那における宗良親王	三四四
<b>第二章 中 世</b>		三 諏訪・伊那における宗良親王	三四二
<b>第一節 中世の概説</b>	二二五	(一) 伊那に入るまでの宗良親王	三四二
		(二) 伊那における宗良親王	三四四
<b>第二節 鎌倉時代</b>	一四二	<b>第四節 室町時代</b>	三五四
一 伊那武士の抬头	一四二	一 大塔の合戦	三五四
(一) 伊那源氏の発祥	一四二	二 諏訪氏と高遠氏の争い	三五九
二 諏訪氏の蕃衍	一四二	三 城山の遺構	三六五
(一) 藤沢氏	一四六		
(一) 高遠氏	一六一		
(一) 保科氏	二八五		
三 山田氏	三〇〇		
(一) 笠原氏	三一〇		
三 黒河内藤沢之庄	三一六		
(一) 荘園の発生	三一六		
(一) 黒河内藤沢之庄	三一八		
<b>第五節 戦国時代</b>	三七一		
一 武田氏の高遠・伊那進出	三七一		
二 高遠城の築城	三八六		
三 武田氏の伊那統治	三八九		
四 武田氏に関する伝承	四〇三		

## 五 高遠城の落城 ..... 四〇六

## 三 御頭祭 ..... 四六七

## 第六節 中世の社会・経済・交通 ..... 四二四

## 四 御柱祭と高遠藩 ..... 四六八

## 一 社会 ..... 四二四

(一) 郷村制の発達

## 五 その他の神道 ..... 四七三

## 二 産業 ..... 四二四

(一) 農業

## 四 鉢持神社 ..... 四七四

(二) 養蚕業

## 四 諏訪社(東高遠) ..... 四七六

(三) 牧畜業

## 四 諏訪社(長藤板山) ..... 四七六

## 三 農民の負担 ..... 四二六

(一) 年貢

## 四 貴船社(藤沢荒町) ..... 四七六

(二) 公事

## 四 諏訪社(藤沢御堂垣外) ..... 四七六

(三) 夫役

## 八 藩社(三義山室宮原) ..... 四七六

## 四 経済 ..... 四二九

## 八 白山社(河南勝間) ..... 四七七

## 五 交通 ..... 四三〇

## 八 藩社(河南下山田) ..... 四七七

## (一) 日本武尊御通過の道 ..... 四三四

## (二) 東山道 ..... 四三六

## 六 土俗信仰 ..... 四七八

## (一) 道祖神 ..... 四七九

## (二) 地藏菩薩 ..... 四八〇

## (三) 十王信仰 ..... 四八一

## (四) 大黒天・甲子信仰 ..... 四八二

## (五) 庚申信仰 ..... 四八三

## (六) 山ノ神信仰 ..... 四八四

## 第七節 神道 ..... 四四三

## 第八節 仏教 ..... 四八六

## 一 諏訪神社信仰 ..... 四四三

## 一 武田氏の寺社政策 ..... 四八六

## 二 伊那廻湛の神事 ..... 四六一

## 二 諸宗の伝播 ..... 四九二

三 德川期以前の開創寺院 ..... 四九九

三 高遠城下町の宗門改めの方法 ..... 六五一

第三章 近世

四 高遠町各寺院の檀家と雇用者 ..... 六六三  
五 武士の宗門改め ..... 六六六  
六 寺院の宗門改め ..... 六七二

第一節 近世の概説 ..... 五〇五

第二節 高遠領主 ..... 五〇七

- 一 保科氏時代 ..... 五〇七  
二 鳥居氏時代 ..... 五一九  
三 幕府領時代 ..... 五三〇  
四 内藤氏時代 ..... 五四四

第五節 貢租 ..... 七〇一

- 一 貢租の概説 ..... 七〇一  
二 年貢の割付 ..... 七〇三  
三 檢見法と定免法 ..... 七〇五  
四 保科氏時代の貢租 ..... 七〇七  
五 鳥居氏時代の貢租 ..... 七〇八  
六 幕府領時代の貢租 ..... 七一二  
七 内藤氏時代の貢租 ..... 七二一  
八 年貢の納め方 ..... 七三三

第三節 檢地 ..... 六一六

- 一 天正検地 ..... 六一六  
二 明暦検地 ..... 六一〇  
三 元禄検地 ..... 六二六

第四節 宗門改め ..... 六四七

- 一 宗門改めの概説 ..... 六四七  
二 高遠領の切支丹類族 ..... 六四八

第六節 高遠城下町 ..... 七六一

- 一 高遠城下町の成立 ..... 七六一  
二 城下町の広さ ..... 七六五

三	高遠城下町の行政	七七三
(一)	間屋・名主	七七五
(二)	町代(丁代)	七九〇
四	高遠町の家数並びに間数役付	八〇九
(一)	伝馬役・人足役	八四一
(二)	伝馬にて各地に継ぎ送る駄賃	八四四
(三)	伝馬の先触	八四六
(四)	伝馬役・人足役勤務の困窮	八四七
六	城下町商業	八五四
(一)	振売対策	八五五
(二)	地主化した商人	八五六
(三)	仕事の代米として高遠商人に送られ た米	八六五
四	高遠津留番所条目	八六七
七	商目付	八六八
八	諸荷物問屋	八七一
九	城下町高遠の造酒業	八七三
十	仕送役	八七三
十一	馬のせり市場	八八四
十二	郷宿	八八七
十三	幕末高遠来泊者	八八九
十四	幕末の諸施策	八九四

(一) 産物会所の創設  
多町・相生町の新設  
八九五